



# 平成29年度 支部大会

## 議事次第

- |    |                   |             |
|----|-------------------|-------------|
| 0. | 開会・成立確認           |             |
| 1. | 支部長挨拶             | 15:30～15:40 |
| 2. | 平成28年度 活動報告       | 15:40～15:50 |
| 3. | 平成28年度 収支報告(案)    | 15:50～15:55 |
| 4. | 平成29年度 支部幹事・顧問の選任 | 15:55～16:05 |
| 5. | 平成29年度 事業計画(案)    | 16:05～16:10 |
| 6. | 平成29年度 収支予算(案)    | 16:10～16:15 |
| 7. | 支部内規の細則への改訂の審議    | 16:15～16:25 |
| 8. | 平成28年度 支部表彰       | 16:35～17:15 |

2017/4/6 @日立GE本社(秋葉原ダイビル)

## 1. 支部長挨拶

## 2. 平成28年度 活動報告

### (1)支部大会

日時：2016年 4月 7日(木) 15:30～17:15

場所：日立GE本社(秋葉原ダイビル) 大会議室

議題：

- ①平成27年度 事業活動報告, 収支報告
- ②平成28年度 事業活動計画, 収支予算
- ③新幹事紹介 ④支部規約改訂の審議
- ⑤平成27年度支部表彰



## 2. 平成28年度 活動報告

### (2)オープンスクール

- 第25回「青少年のための科学の祭典」2016全国大会  
2016年 7月30～31日 @科学技術館 参加者総計16,601人

身近にある不思議『放射線って何?』

- 実験1：小型霧箱を作製して放射線の飛跡を観察する
- 実験2：簡易放射線測定器で測定試料から発生する放射線を測ってみる。
- 実験3：放射線の性質を調べてみる<遮へい、距離の効果を比較する>

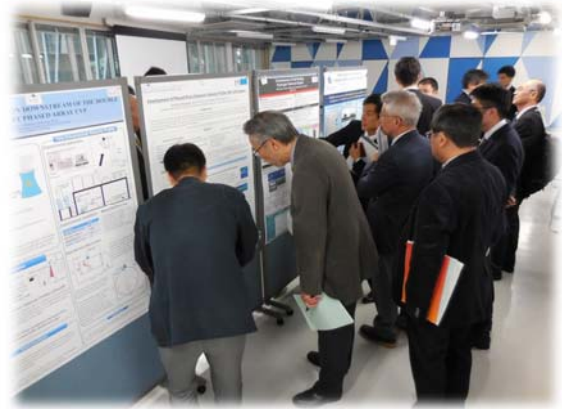


## 2. 平成28年度 活動報告

### (3)若手研究者発表討論会

2016年11月 2日 @東京工業大学/INES-5併催

- テーマ：原子力・放射線 未来・夢・創造  
- 次世代に向けた革新的原子力理工学の新たな展開 -
- 発表者：メーカ・研究機関・大学等の若手研究者 16名



## 2. 平成28年度 活動報告

### (3)若手研究者発表討論会

- 奨励賞：6名
  - 朝木大輔（早稲田大）  
自然循環を用いた使用済み燃料プールにおける無電源冷却システムの実験的研究
  - 青木貴則（早稲田大）  
海洋温度差発電OTEC の併用によるABWR 熱効率向上と適用地域の選定に関する研究
  - 垣谷健太（東大）  
イオンビーム照射欠陥による白金ナノ粒子触媒の高活性化  
—局所量子構造の新たな役割を密度汎関数理論計算で解き明かす—
  - 名越航平（芝浦工大）  
高レベル廃液処理に用いるTODGA 吸着材のガラス固化に向けた基礎研究
  - 梅澤征悟（東工大）  
I-127 とCs-133 のkeV 中性子捕獲反応の研究
  - 福井宗平（日立製作所）  
電源不要型水素除去技術の開発



## 2. 平成28年度 活動報告

### (4)学生研究発表会 2017年 3月10日 芝浦工業大学 豊洲キャンパス

– 発表 48件 (申込: 49件)

– 受賞者

• 優秀賞: 2名

- ベレデジャンミシエル (東大M1)  
可搬型線形加速器駆動中性子源を用いた社会インフラ水分分布測定技術の開発
- 斐工ナ (芝工大B4)  
抽出剤含浸吸着材のSty-DVB 担持体の架橋度が吸着・溶離特性に及ぼす影響

– 特別講演 長岡技術科学大学大学院 鈴木達也教授

次世代原子カシステムを見据えた同位体分離研究と展望



## 2. 平成28年度 活動報告

### (4)学生研究発表会 2017年 3月10日 芝浦工業大学 豊洲キャンパス

– 受賞者

• 奨励賞: 14名

- 于嵩 (東大M2) フラボノイドの放射線防護における糖鎖の影響
- 安倍諒治 (芝工大M1) 油吸着シートを用いたMo(VI)及びZr(IV)の新規分離技術の基礎研究
- 薄井茜 (芝工大M1) ホウ酸塩ガラス中における使用済無機吸着材の再結晶に関する基礎研究
- 大高稔紀 (筑波大M1) 単一微粒子計測法によるリン系抽出剤を含む  
高分子被覆多孔質シリカ/溶液系におけるユロピウム移動機構解析
- 駒田諒 (芝工大M1) SiO<sub>2</sub>担持型両性イオン交換体を用いた  
処理水中の微量核種の吸着分離技術の基礎研究
- 田中裕大 (山梨大M1) ヘリウムガス注入による自然循環流制御技術に関する研究
- 池田広大 (東海大B4) IPを用いたβ線減衰によるエネルギー・弁別法の検討
- 臼井拓己 (早大B4) TiO<sub>2</sub>ナノ粒子を用いた多相流体における自然循環特性及び予測に関する研究
- 内田航平 (早大B4) MPS法によるFAROL26-S溶融物Spreading実験の感度解析
- 樫又恒一 (都市大B4) 放射化評価に影響を与える微量元素分析に関する検討
- 兼平捷矢 (都市大B4) カメラ型検出器を用いたパルス中性子イメージングのための  
実時間輝点重心処理回路の開発
- 西尾匠平 (早大B4) 原子炉格納容器の濡れ性改善に関する実験的研究
- 橋長宏明 (早大B4) 使用済み燃料プール無電源冷却システムに関する研究
- 毛利雅裕 (芝工大B4) 夾雑元素混入が鉄リン酸ガラスに及ぼす影響に関する研究



## 2. 平成28年度 活動報告

### (5)支部幹事会

- **第1回** 2016年10月27日(木) 13:15～14:50 @日立GE本社 会議室  
 主な議題：
  - ①小委員会からの定例報告(総務/倫理/企画/表彰/広報)
  - ②平成29年度 支部運営体制(支部長, 幹事, 代議員, YGNJ連絡員, 事務局)
  - ③学会フェローの支部推薦について
  - ④平成29年度 予算案      ⑤平成27年度 会計監査報告
  - ⑥平成29年度 支部大会の開催要領について
  
- **第2回** 2017年 2月24日(金) 15:00～17:05 @日立GE本社 会議室  
 主な議題：
  - ①平成28年度 支部賞 受賞候補案の承認
  - ②平成29年度 幹事について
  - ③支部内規の細則への改訂について
  - ④小委員会からの定例報告(総務/倫理/企画/表彰/広報)

## 2. 平成28年度 活動報告

### (6)企画小委員会

- **第1回** 2016年 4月 7日(木) 14:00～15:00 @日立GE 本社 会議室  
 主な議題：①第9回 学生研究報告会 実施報告  
           ②平成28年度 活動計画, 収支予算, 企画小委員会の体制
  
- **第2回** 2016年 7月 7日(木) 15:00～16:30 @日立GE 本社 会議室  
 主な議題：①平成28年度 オープンスクールについて  
           ②平成28年度 若手研究者発表討論会について
  
- **第3回** 2016年 9月28日(水) 16:00～17:30 @日立GE 本社 会議室  
 主な議題：①「科学の祭典」オープンスクール実施報告  
           ②第15回 若手研究者発表討論会について
  
- **第4回** 2017年 2月23日(木) 15:00～16:25 @日立GE 本社 会議室  
 主な議題：①第10回 学生研究発表会について  
           ②若手連絡会 (JYGN) について  
           ③会員獲得・原子力理解活動提案書について

## 2. 平成28年度 活動報告

### (7)表彰小委員会

- **第1回** 2016年10月12日(水) 13:30～15:05 @日立GE 本社 会議室  
主な議題：
  - ①平成28年度 支部賞の募集について
  - ②第15回 若手研究者発表討論会の審査協力について
- **第2回** 2016年 2月 7日(火) 13:30～14:30 @日立GE 本社 会議室  
主な議題：
  - ①平成28年度 支部賞受賞候補の審議
  - ②第10回 学生研究発表会の審査協力について

## 2. 平成28年度 活動報告

### (8)倫理小委員会

- 原子力学会倫理委員会との連携
  - 第91回 H28. 5.12
  - 第92回 H28. 7. 4
  - 第93回 H28. 9.28
  - 第94回 H28.11.15
  - 第95回 H29.1.24
  - 第96回 H29.3.16
  - 委員会検討タスク H28.12.14, H29.2.10

### (9)総務小委員会

- 支部規約の改訂
- 支部内規の細則・ガイドラインへの改訂

## 2. 平成28年度 活動報告

### (10) 広報小委員会

- **支部行事広報活動**
  - 支部大会
  - 青少年のための科学の祭典 全国大会
  - 若手研究者発表討論会, 学生研究発表会
- **支部ホームページの管理運営**
  - 支部幹事・顧問リスト, 支部規約類
  - 支部表彰, 若手研究者発表討論会, 学生研究発表会  
募集ポスター, 受賞者一覧, 当日の写真
  - 青少年のための科学の祭典 全国大会 当日の写真
- **学会メーリングリストへの配信**
  - 支部大会のご案内
  - 支部賞, 若手研究者発表討論会, 学生研究発表会の募集
- **支部メーリングリスト管理**
  - 委員交代等に伴う整備

### 3. 平成28年度 収支報告 (案)

#### 1. 収入の部

(単位:円)

項目	実績額	予算額	前年度 実績額	予算残/差異 (予算-実績)
1. 本部交付金				
1-1. 本部配布金収入	1,158,000	1,158,000	1,593,000	0
2. 大会参加費収入	59,500	100,000	72,000	40,500
3. 研究発表会参加費収入	167,500	180,000	201,000	12,500
4. 講演会参加費収入	0	0	0	0
5. 見学会参加費収入	0	0	0	0
6. オープンスクール参加費収入	0	0	0	0
7. 共催金収入	0	0	0	0
8. 寄付金収入	0	0	0	0
9. その他収入 (受取利息)	0	0	0	0
10. その他収入 (雑収入)	0	0	0	0
合計	1,385,000	1,438,000	1,866,000	53,000

この会計報告は、暫定額  
です。  
決算は5月頃の予定です。

会計監査報告は、決算  
後にご報告します。

#### 2. 支出の部

(単位:円)

項目	実績額	予算額	前年度 実績額	予算残/差異 (予算-実績)
1. 大会費	117,435	221,000	175,188	100,782
2. 幹事会費	0	0	0	83,200
3. 研究発表交流会費	591,593	695,000	538,586	101,279
4. 講演会費	0	200,000	0	0
5. 見学会費	0	0	183,682	70,000
6. オープンスクール(支部負担額)	0	100,000	0	△21,010
7. その他事業費	17,158	221,000	70,590	422,880
8. 事務費	1,029	1,000	15,609	△16,246
合計	727,215	1,438,000	983,655	740,885

#### 3. 次年度繰越金

本部戻入	430,785	(本部配布金-支出実績)
収支差額	227,000	(収入実績-支出実績-本部戻入)
本部回収後の収支差額	181,600	(収支差額の80%)
(次期繰越収支差額は、¥1,158,168となります)		

### 3. 平成28年度 収支報告 (案)

この会計報告は、暫定額です。  
決算は5月頃の予定です。

#### 平成28年度 事業別決算(詳細)

科目	事業名	配分金	支部大会 (4/7)	若手研究者 発表討論会 (11/2)	学生発表会 (3/10)	講演会 見学会	オープン スクール	その他 事業費 (支部賞等)	事務費	合計
収入	本部予算配分金収入	1,158,000								1,158,000
	参加費収入		59,500	80,500	87,000					227,000
	収入計(実績)	1,158,000	59,500		167,500	0	0	0	0	1,385,000
	予算	1,158,000	100,000		180,000	0	0	0	0	1,438,000
	予算残/差異(予算-実績)	0	40,500		12,500	0	0	0	0	53,000
支出	臨時雇賃金支出			21,000	28,000					49,000
	会議(会場)費支出		108,560	168,016	201,861					478,437
	旅費交通費支出		8,400	7,880	10,500			16,800		43,580
	通信運搬費支出		205		1,390			358	1,029	2,982
	消耗品費支出				2,100					2,100
	一般外注経費支出			23,618	125,544					149,162
	雑費支出		270	702	982					1,954
	支出計(実績)	0	117,435	591,593	591,593	0	0	17,158	1,029	727,215
	予算	0	221,000	695,000	695,000	200,000	100,000	221,000	1,000	1,438,000
	予算残/差異(予算-実績)	0	103,565	103,407	103,407	200,000	100,000	203,842	▲ 29	710,785
収支	1,158,000	▲ 57,935		▲ 424,093	0	0	▲ 17,158	▲ 1,029	657,785	



## 4.平成29年度 支部幹事・顧問の選任

### (1)幹事

2017年4月6日

No	役職名	氏名	所 属	備考
1	支部長	岡田 往子	東京都市大学 原子力研究所 准教授	代議員
2	副支部長 (倫理小委員会委員長)	田辺 朗	株式会社東芝 原子力事業部 技監	代議員
3	副支部長 (表彰小委員会委員長)	玉田 正男	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究部門 研究企画室 室長代理	代議員
4	副支部長	松崎 浩之	東京大学総合研究博物館 教授	代議員
5	幹事 (総務小委員会委員長)	芦田 新典	一般社団法人 原子力安全推進協会(JANSI) 施設運営本部 評価計画部 ピアレビュー計画G 部長	代議員
6	幹事 (企画小委員会委員長)	新井 剛	芝浦工業大学 工学部 材料工学科 教授	代議員
7	幹事 (広報小委員会委員長) (会計担当)	植田 伸幸	一般財団法人 電力中央研究所 理事 原子力技術研究所長	代議員
8	幹事 (庶務担当)	苅込 敏	日本原子力発電株式会社 廃止措置プロジェクト推進室 室長	
9	幹事 (庶務担当)	木倉 宏成	東京工業大学 科学技術創成研究院 先端原子力研究所 准教授	
10	幹事 (庶務担当)	鈴木 達也	長岡技術科学大学大学院 工学研究科 原子カシステム安全工学専攻 安全技術講座 教授 ラジオアイソトープセンター長	
11	幹事 (庶務担当)	武田 哲明	山梨大学大学院 総合研究部 工学域 機械工学系 教授	
12	幹事 (庶務担当)	峯 雅夫	日立GEニュークリア・エナジー株式会社 原子力技術本部 技術主管	代議員
13	幹事 (庶務担当)	椋木 敏	日揮株式会社 インフラプロジェクト本部 国内原子カプロジェクト部 海外原子カプロジェクトグループ グループリーダー	代議員
14	幹事 (庶務担当)	師岡 慎一	早稲田大学 先進理工学研究科 共同原子力専攻 特任教授	代議員
15	幹事 (庶務担当)	吉田 茂生	東海大学 工学部 原子力工学科 教授	代議員
16	幹事 (庶務担当)	吉津 達弘	三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部 原子力技術部 主幹	
	事務局長	稲田 文夫	一般財団法人 電力中央研究所 原子力技術研究所 副所長	

## 4.平成29年度 支部幹事・顧問の選任

### (2)顧問

2017年4月6日

No	氏名	所 属	備考
1	山脇 道夫	東京大学名誉教授 福井大学特命教授	
2	数土 幸夫	公益財団法人 原子力安全技術センター 理事長	
3	関本 博	東京工業大学 名誉教授	
4	吉田 正	東京都市大学 名誉教授	
5	井頭 政之	東京工業大学 グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント教育院 特任教授	

# 5. 平成29年度 事業計画 (案)

- (1) 支部大会(@日立GE本社) 4/6
- (2) 原子力オープンスクール
  - 青少年のための科学の祭典 全国大会 7/29-30
  - 科学研究費・原子力理解活動 8月ごろ
- (3) 第16回 若手研究者発表討論会 10月下旬
- (4) 第11回 学生研究発表会(@東京大) 2017年3月上旬
- (5) 支部賞募集 10月ごろ
- (6) 見学会・講演会 未定
- (7) 秋の大会への学生参加支援(@北海道大) 9/13-9/15
- (8) 春の年会への学生参加支援(@大阪大) 2017/3/26-28
- (9) 支部幹事会(第1回) 10月ごろ
- (10) 支部幹事会(第2回) 2017年2月ごろ

# 5. 平成29年度 事業計画 (案)

2017年4月6日

No.	項目	実行委員	平成29年度(2017年度)												備考						
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		4月					
	支部大会	事務局	▽4/6 (日立GE)												※平成30年度支部フェロニ候補推薦		▽4月上旬 支部大会 (電中研)				
	支部幹事会	事務局														▽2月中旬 第2回 支部賞募集					
	表彰小委員会	事務局	▽4/6 支部賞 表彰式 (支部大会)												▽1月中旬 支部賞 応募締切	▽2月上旬 第2回 (電中研)	3月上旬 学生発表会 審査協力	▽4月上旬 支部賞 表彰式 (支部大会)			
	企画小委員会	事務局	▽4/6 第1回 (日立GE)	▽5月下旬 第2回 (電中研)		▽7月上旬 (電中研)										▽2月下旬 第3回 (電中研)		▽4月上旬 平成30年度 第3回 (電中研)			
1	見学会/講演会 Atoms for Future	事務局	*大学の講演会の後援、共催などを検討して頂く																		
2	原子力オープンスクール (青少年のための科学の祭典)	吉田先生 (東海大)	4月下旬 学会本部OS 小委員会	▽5月中旬 OSWG	▽6月中旬 OSWG	▽7/29-30 科学の祭典 科学技術館															
3	原子力オープンスクール (科研費/原子力理解活動)	吉田先生、新井先生 (東海大、芝工大)	▽4月下旬 科研費補助金 内定後の登録 申請			▽7月中旬 OSWG	▽8月下旬 科研費/理解 OS					10月 科研費申請							4月上旬 探状可告知		
4	若手研究者発表討論会																		優秀発表学生2名を 2018年春季の年会への 参加支援		
5	学生研究発表会	松崎先生 (東大)	平成28年度学生研究発表会(2017/3/10)優秀発表学生(2017年秋の大会へ)															▽1月中旬 発表 WEBアップ	▽1月中旬 参加締切 ▽2月下旬 準備締切	▽3月上旬 学生研究発表	最優秀の大学院生、学 部生各1名を2018年秋 の大会への参加支援
6	年会・大会への 学生参加支援	事務局 (若手研究者発表討論 会) (学生研究発表会)										9/13~15 原子力学会 秋の大会 (北海道大)							ポスター支援 申請	3/26~28 原子力学会 春の年会 (大阪大)	

# 6. 平成29年度 収支予算 (案)

本予算(案)は6月の総会にて承認される予定のものです。

「1」本部(通常)予算		科目コード	上期 (4~9月)	下期 (10~3月)	合計	内 訳 (使 途)	
収入	会費収入	-			0		
	(A)本部予算配分金収入	14531	1,270,000		1,270,000		
	参加費収入	14201	60,000	180,000	240,000	支部大会¥60,000, 若手研究者発表討論会¥80,000, 学生研究発表会¥100,000	
	テキスト(論文集)売上収入	14361			0		
	受託料収入	14641			0	20%を本部回収額支出に計上(規程0303) (委託事業「13025」¥200,000)計上(委託料)	
	協賛・後援・賛助金収入	14681			0	20%を本部回収額支出に計上(規程0303)	
	寄付金収入	14721			0	20%を本部回収額支出に計上(規程0303)	
	その他収入(上記以外)				0		
	(B)収入計		1,330,000	180,000	1,510,000		
	支出	臨時雇賃金支出	15021	100,000	105,000	205,000	オープンスクール¥100,000, 若手研究者発表討論会¥35,000, 学生発表会¥70,000
会議(会場)費支出		15041	130,000	360,000	490,000	支部大会¥120,000, オープンスクール¥10,000, 若手研究者発表討論会¥160,000, 学生発表討論会¥200,000	
旅費交通費支出		15051	170,000	100,000	270,000	秋の大会参加費補助¥140,000, 春の年会参加費補助¥50,000, 委員会等委員移動¥80,000	
通信運搬費支出		15061	1,000	10,000	11,000	メールリスト契約¥1,027, 若手研究者発表討論会¥5,000, 学生研究発表会¥5,000	
消耗品費支出		15091		20,000	20,000	若手研究者発表討論会¥10,000, 学生研究発表会¥10,000	
一般外注経費支出		15111		280,000	280,000	若手研究者発表討論会¥80,000, 学生研究発表会¥100,000, 支部賞¥100,000	
出展費支出		15121	200,000		200,000	見学会¥200,000	
委託費支出		15131			0		
諸謝金支出		15161			0		
本部回収額支出		15301			0		
その他支出(上記以外)				20,000		20,000	保険料(オープンスクール時, 学生)
				11,000	3,000	14,000	雑費
						0	
(C)支出計		632,000	878,000	1,510,000			
本部(通常)予算収支 (B)-(C)			698,000	-698,000	0		

# 6. 平成29年度 収支予算 (案)

本予算(案)は6月の総会にて承認される予定のものです。

科目	事業名	支部大会 (4月)	オープン スクール (夏休み)	秋の大会 (9月@札幌)	見学会 or講演会 (夏休み近傍)	メールリスト	その他	上期計 (4~9月)	若手発表会 (10月)	学生発表会 (3月)	春の年会 (3月@大阪)	H27年度支部 表彰 (4月)	その他	下期計 (10~3月)	合計	
収入	会費収入	-						0						0	0	
	本部予算配分金収入	14531					1,270,000	1,270,000						0	1,270,000	
	参加費収入	14201	60,000					60,000	80,000	100,000				180,000	240,000	
	テキスト(論文集)売上収入	14361						0						0	0	
	受託料収入	14641						0						0	0	
	協賛・後援・賛助金収入	14681						0						0	0	
	寄付金収入	14721						0						0	0	
	受取利息収入	14731						0						0	0	
	収入計		60,000	0	0	0	0	1,270,000	1,330,000	80,000	100,000	0	0	0	180,000	1,510,000
	支出	臨時雇賃金支出	15201	100,000					100,000	35,000	70,000				105,000	205,000
会議(会場)費支出		15041	120,000	10,000				130,000	160,000	200,000				380,000	490,000	
旅費交通費支出		15051	20,000	10,000	140,000			170,000	10,000	20,000	50,000		20,000	100,000	270,000	
通信運搬費支出		15061					1,000	1,000	5,000	5,000				10,000	11,000	
消耗品費支出		15091						0	10,000	10,000				20,000	20,000	
一般外注経費支出		15111						0	80,000	100,000			100,000	280,000	280,000	
出展費支出		15121			200,000			200,000						0	200,000	
委託費支出		15131						0						0	0	
諸謝金支出		15161						0						0	0	
雑費支出		15171	1,000	10,000				11,000	1,000	1,000	1,000			3,000	14,000	
負担金支出		15181						0						0	0	
本部回収額支出		15301						0						0	0	
支出計			141,000	150,000	140,000	200,000	1,000	0	632,000	301,000	406,000	50,000	101,000	20,000	878,000	1,510,000
収支		▲ 81,000	▲ 150,000	▲ 140,000	▲ 200,000	▲ 1,000	1,270,000	698,000	▲ 221,000	▲ 306,000	▲ 50,000	▲ 101,000	▲ 20,000	▲ 698,000	0	

## 7.支部内規の細則への改訂の審議

お手元の資料を参照ください

- ・0901-04-01 小委員会の運営に関する細則
- ・0901-04-03 支部表彰に関する細則
  
- ・0901-04-G1 支部事務局および副支部長に関するガイドライン  
(内規0901-04-02は廃止)
- ・0901-04-G2 春の年会・秋の大会への参加支援に関するガイドライン  
(内規0901-04-04は廃止)

## 8. 平成28年度 支部表彰

- 原子力知識・技術の普及貢献賞 2件
  - 超耐熱炭化ケイ素繊維の実用化
  - 重粒子線がん治療用超伝導回転ガントリーの開発
- 技術貢献賞 0件
- 支部貢献賞 1件
  - 関東・甲越支部の支部活動の充実・発展に関する貢献

## 8. 平成28年度 支部表彰

- 原子力知識・技術の普及貢献賞
  - ① 超耐熱炭化ケイ素繊維の実用化
    - 受賞者 武田 道夫様（日本カーボン株式会社）
    - 共同受賞者 杉本 雅樹様（量子科学技術研究開発機構）
    - 笠井 昇様（量子科学技術研究開発機構）

### 採択の理由

ポリカルボシランの放射線架橋技術と高温焼成技術の最適化による超耐熱SiC繊維の作製技術は平成3年に出願された。その後、候補者らは、セラミックス複合材料の強度と破壊靱性の両立に向けて改良を進めた結果、世界最大級の推力を持つ民間航空機用最新エンジン「GE9X」のタービンブレードに採用にされることとなった（日経新聞平成29年1月11日）。今後、航空機エンジンの燃焼効率の向上や軽量化による燃費改善が期待できることから、需要がさらに拡大すると思われる。放射線利用技術の長年の研究開発が市場の拡大が期待される新素材の実用化に至った素晴らしい成果である。



## 8. 平成28年度 支部表彰

### • 原子力知識・技術の普及貢献賞

#### ② 重粒子線がん治療用超伝導回転ガントリーの開発

受賞グループ 重粒子線がん治療用超伝導回転ガントリー開発プロジェクト  
 代表者：白井 敏之様（量子科学技術研究開発機構）

#### 採択の理由

炭素イオンを腫瘍に照射する重粒子線がん治療は、副作用がなく短期間で治療が終了することから、生活の質（QOL）の高い治療法として期待されている。候補者らは重粒子線がん治療における超電導回転ガントリーを開発し、患者に不自然な体位を取らせずに脊髄などの重要臓器を避けながら任意の角度から腫瘍の形状に合わせた炭素イオンの照射を実現した。がん治療での患者負担が軽減されるとともに、治療の精度・効率も向上することが期待されることから、重粒子線がん治療技術の一層の普及が期待される。

## 8. 平成28年度 支部表彰

### • 支部貢献賞

#### ① 関東・甲越支部の支部活動の充実・発展に関する貢献

受賞者 星出 明彦様（株式会社東芝）

#### 採択の理由

2003年から14年に渡り支部活動に参画され、企画委員会、表彰委員会、事務局（事務局長）などに携われ、支部活動における長期にわたる活躍、新たな提案・企画などにより支部の発展に貢献された功績は多大である。特に、2013年の韓国原子力学会主催の新型原子炉国際会議ICAPPの技術プログラム委員会の運営では、アブストラクトの募集に関して締め切りまでに十分な余裕が取れない状況で日本の投稿を取りまとめ、支部の責務を完徹された。また、2012年に支部総会の支部表彰での授賞式と受賞者講演会をセットにした運営を発案され、本企画は現在も継続して採用されている。